

事業報告書

年 月 日

福山市長様

住所

名前

(記名押印または自署としてください。)

年 月 日付で申請した小型浄化槽設置整備事業を次のとおり実施しました。

事業名	小型浄化槽設置整備事業		
実施場所	福山市		
事業費	円	補助金額	円
着手年月日	年	月	日
変更年月日	年	月	日
完成年月日	年	月	日

実施事業の経過と内容

基礎埋設工事	年	月	日
浄化槽撤去工事	年	月	日
污水配管工事	年	月	日
上部スラブ打ち	年	月	日

添付書類

1. 収支決算書
2. 浄化槽保守点検業者及び浄化槽清掃業者との業務委託契約書の写し
3. 浄化槽法定検査(11条検査)受検契約書の写し
4. チェックリスト
5. 浄化槽工事施工の現場写真及び写真チェックリスト
6. 工事後の排水経路図(既設を含むすべての升に番号を付し、工事写真と対応させること。  
なお、既設の配管と升を引き続き利用する場合は、既設と新設とが区別できるように記載すること。)
7. 浄化槽使用開始報告書
8. 単独処理浄化槽からの転換の場合は、廃止した単独処理浄化槽の浄化槽使用廃止届出書
9. 請求書
10. その他市長が必要と認める書類

収 支 予 算 書  
決 算

収 入 の 部

費 目	金 額	付 記
設置費補助金		人槽
単独撤去費上乗せ補助金		
宅内配管工事費上乗せ補助金		
自 己 資 金		
合 計		

支 出 の 部

費 目	金 額	付 記
浄化槽本体		人槽
基礎埋設工事		
上部スラブ打ち		
浄化槽撤去費		
汚水配管工事		
他 諸 経 費		
小 計		
消 費 税		
合 計		

<別表> チェックリスト

検 査 項 目	チェックのポイント	欄
1. 流入管きよ及び放流管きよの勾配	汚物や汚水の停滞がないか	
2. 放流先の状況	放流口と放流水路の水位差が適切に保たれ、逆流のおそれはないか	
3. 誤接続の有無	生活排水が全て接続されているか 雨水や工場排水等が流入していないか	
4. 升の位置及び種類	起点, 屈曲点, 合流点及び一定間隔ごとに適切な升が設置されているか	
5. 流入管きよ, 放流管きよ及び, 空気配管の変形, 破損のおそれ	管の露出等により変形, 破損のおそれはないか(耐圧管の使用等, 適切な保護対策の実施)	
6. かさ上げの状況	バルブの操作などの維持管理を容易に行うことができるか	
7. 浄化槽の上部及びその周辺の状況	保守点検, 清掃を行いにくい場所に設置されていないか	
	保守点検, 清掃の支障となるものが置かれていないか	
	コンクリートスラブは適切な大きさかまた割れはないか	
8. 漏水の有無	漏水が生じていないか	
9. 浄化槽本体の水平の状況	水平が保たれているか	
10. 接触材等の変形, 破損, 固定の状況	嫌気ろ床のろ材及び接触ばっ気槽の接触材に変形や破損はないか	
	しっかり固定されているか	
11. ばっ気装置, 逆洗装置, 汚泥移送装置の変形, 破損, 固定及び稼働の状況	各装置に変形や破損はないか	
	しっかり固定されているか	
	空気の出方や水流に片寄りはないか	

検 査 項 目	チェックのポイント	欄
12. 消毒設備の変形, 破損, 固定の状況	消毒設備に変形や破損はないか	
	しっかり固定されているか	
	薬剤筒が傾いていないか	
13. ブローの設置, 稼働状況	防振対策がなされているか	
	固定が十分行われているか	
	アースはなされているか (アースレスの場合は除く)	
	漏電のおそれはないか	
14. ポンプ設備(流入ポンプ及び放流ポンプ)の設置, 稼働状況 ★ポンプ設備がある場合のみ	ポンプ弁に変形や破損はないか	
	ポンプ弁に漏水のおそれはないか	
	ポンプが2台以上設置されているか	
	設計どおりの能力のポンプが設置されているか	
	ポンプの固定が十分行われているか	
	ポンプの取り外しが可能か	
	ポンプの位置や配管がレベルスイッチの作動を防げるおそれはないか	
<p style="text-align: center;">..... の 浄 化 槽 設 置 工 事 を</p> <p style="text-align: center;">上 記 の と お り 確 認 し た こ と を 証 明 し ま す。</p> <p style="text-align: center;">年 月 日</p> <p style="text-align: center;">担当浄化槽設備士 名 前</p> <p style="text-align: center;">..... (記名押印又は自署としてください。)</p> <p style="text-align: center;">浄化槽設備士免状の交付番号</p> <p style="text-align: center;">.....</p>		

浄化槽工事写真 チェックリスト

補助費目番号	項目	チェックポイント	チェック欄	
浄化槽設置工事	1	浄化槽設備士の工事実地写真	<ul style="list-style-type: none"> <li>浄化槽設備士が設置予定場所で標識板と掲示板を掲げ撮影</li> <li>埋設予定地の地面、付近家屋等の周辺状況が分かるように撮影する</li> </ul>	
	2	掘削工事	掘削及び床付け完了後、深さが分かるようにスケールとともに撮影	
	3	基礎工事（割栗工事）	突き固めが完了後、割栗石の厚さが分かるように撮影	
	4	基礎工事（ベース配筋工事）	縦横の鉄筋が配され、ピッチの分かるスケールとともに撮影	
	5	基礎工事（ベースコンクリート工事）	コンクリート養生後、コンクリート厚の分かるスケールとともに撮影 ※既製底板を使用する場合は、設置が分かるように撮影	
	6	浄化槽本体	浄化槽のメーカー、型式が分かるように撮影	
	7	据付工事（水平確認・水張り）	据え付けた浄化槽本体の水平を確認する水準器、浄化槽内に注水しているホースとともに撮影	
	8	埋め戻し（水締め・突き固め）	<ul style="list-style-type: none"> <li>本体の水平を確認するための水準器</li> <li>埋め戻しの高さを示すスケール</li> <li>突き固め用の器具（ランマーなど）</li> <li>注水しているホース</li> </ul> 以上に加えて、浄化槽本体を埋め戻している様子を撮影	
	9	上部スラブ・配筋工事	型枠を組み立て、配筋を行ったことが分かるように撮影	
	10	上部スラブ・コンクリート工事	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンクリートを打ち込み、表面の仕上げが完了したことが分かるように全体を撮影</li> <li>コンクリートの厚さが確認できること</li> </ul>	
	11	かさ上げ工事	かさ上げ高が分かるようにスケールを当てて撮影（立上げ枠の高さを30cm以内とすること。ただし、30cm以上となる場合は、ビット構造とするなどの対策をとること。）	
	12	フロア本体	設置状況が分かるように撮影	
	13	完成写真	<ul style="list-style-type: none"> <li>敷地内に存在するすべての家屋壁面及び浄化槽、排水マス（既存マス含む）を撮影すること</li> <li>マスの位置を確認するために、最終図面を添付すること</li> <li>図面と相違ないことを確認するため、配管のない面や工事を行わなかった家屋の壁面、建物のない部分の写真も必ず添付すること</li> <li>※浄化槽にポンプ設備を設置する場合は、ポンプ本体も撮影すること</li> </ul>	
宅内配管工事（上乗せ）	14	配管の敷設工事（工事前） （全配管敷設予定箇所について、どの場所かわかるように撮影してください）	配管敷設予定箇所を建物が入るように撮影	
	15	配管の敷設工事（工事中） （全配管敷設予定箇所について、どの場所かわかるように撮影してください）	配管を接続し、土砂等をかぶせる前の状況を撮影	
	16	配管の敷設工事（完了） （全配管敷設予定箇所について、どの場所かわかるように撮影してください）	配管の埋設が完了した状況を撮影	
既存単独処理（浄化槽乗せ撤去）	17	撤去作業（撤去前）	既存単独処理浄化槽を撤去する前の状況を撮影	
	18	撤去作業（撤去中）	既設単独処理浄化槽の上部部分を破砕した状況であることが分かるように撮影	
	19	撤去作業（撤去完了）	穴の底が分かるように、既設単独処理浄化槽の撤去が完了した状況を撮影	
	20	撤去作業（撤去時）	既設単独処理浄化槽の撤去したすべてのガスをトラックに乗せた状態を撮影	

その他注意事項

- 提出する浄化槽工事写真について不足がある場合は、**補助金額の減額**となる場合がありますのでご注意ください。
- 申請書類について、虚偽の申請が発覚した場合は、**補助金の取り消し**となる場合があります。
- 写真が一枚に入りきらない場合は、**複数枚に分けて**撮影してください。
- 工事写真撮影手順に従って必要な標識板と掲示板を写真に入れて撮影してください。また、掲示板には補助金通知番号をはっきりと記載して下さい。
- 掲示板と標識板の文字は、撮影する際に鮮明に写るようお願いします。
- 水準器は、必ず水平であることが分かるように撮影してください。
- 実績報告書は、工事完了後速やかに提出してください。